

【平成17年度専修学校教育重点支援プラン事業】

事業名	コミュニケーション能力と表現力を高める演技・演劇による自己啓発プログラムの研究開発		
学校法人名	学校法人 東放学園		
学校名	東放学園高等専修学校		
代表者	理事長 木下 豊	担当者・連絡先	竹淵 繁夫 03-3378-7505
<p><事業概要></p> <p>現状のこどもは、学力不足だけでなく、自然・社会・生活など学びを支える体験が不足し、人やものに関わる力が低下していることなどが課題である。(文部科学白書 平成15年度)最近、他者、社会との関係を取れない生徒・大学生が増加している。演劇、音楽、ダンス、デザイン等芸術系に興味、関心を抱き、独創性を発揮して学習している本校ですら、対人コミュニケーションの苦手な生徒は、共同作業がうまくいかないこともある。この問題解決のために、職業人育成プログラムの前段階となる『コミュニケーション能力と表現力を高める演技・演劇による自己啓発プログラム』の研究開発を行う。さらに、教育現場や社会地域で広く活用してもらうために応用性の高い教育プログラムの作成を目指す。</p> <p><成 果></p> <p>演技・演劇による自己啓発・自己表現の教育的手法に関する研究開発を行い、その有効性を検証した。開発した教育プログラムをテキストにまとめ、高等専修学校・中学校・教育機関等に還元した。</p> <p>(1) コミュニケーション能力と表現力を高める演技・演劇による教育プログラム</p> <p>テキスト名をドラマケーションとした。「ドラマ」&「コミュニケーション」「エデュケーション」を結びつけた造語である。プログラムは、ドラマケーションの初歩から応用へと段階的に活用できるし、単独での活用も可能である。また、「机、椅子そのまま」としてあるメニューは、「机・椅子片付けて」も取り組める。この5分間ドラマケーションは、自然に楽しく取り組めるアクティビティに仕立ててあるので、能動的な学習を促し、人と人との信頼関係作りに役立つ。授業の初めや終わりに限らず、地域でも家庭でも、いつでもどこでもご活用できる。</p> <p>(2) 教育プログラム(テキスト・DVD)の研究</p> <p>◇授業はじめの5分間プログラム</p> <p>「ドラマケーション～5分間で出来る人間関係創り～」は、専門の演劇教育指導者を必要とせず教室でも簡単にできる5分間の“自然で楽しいメニュー”である。自分の中に湧いてきた思いに素直になる。私たちはいつも「やりたいことはどんどんやる」「やりたくないことはやらない」「無理をしない」という三つの約束を最初にしてから行う。</p> <p>◇「非日常」と「日常」の空間を子どもたちにはっきりと認識させる。</p> <p>遊びはファンタジーの世界である。この『5分間ワークショッププログラム』を授業に取り入れる際には、非日常と日常の空間を子どもたちにはっきりと認識させることが大事である。</p> <p>(3) 成果</p> <p>ビデオ・スチール写真・感想などをもとに効果のあるメニューを選定し、決定した。今後も、実証実験を継続し、そのことが、個人個人にどう影響しあうかをより多くの児童、生徒、学生との実習を重ね、またさらに、ドラマ教育に基づくさまざまなコミュニケーションゲーム、表現遊びを紹介し、研究開発していく必要がある。ドラマケーションは、文部科学省が着眼している生きる力であり、豊かな心を育てる教育実践である。さらに、ドラマ教育を指導できる指導者の養成を望む声も多く、今後は、指導者・リーダー養成(ドラマ教育による理論・実技)を行う必要がある。</p>			